

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	73	地方公共 団体名	兵庫県伊丹市	消防団名	伊丹市消防団
担当課	伊丹市消防局 消防総務課		連絡先	Tel 072-783-0122 E-mail 500101@city.itami.lg.jp	
事業名	消防団のデジタル化事業				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>【目的】</p> <p>災害が特異化・広域化する中、南海トラフを震源とする巨大地震により広範囲が被災した場合、他地域からの災害応援が期待できない場合も想定され、地の利と人員を多く抱える消防団員は、地域防災最後の砦となる。また、消防団が抱える量的に豊富な人材資源である消防団員を活用することで、大規模災害発生時に消防の「目」「耳」となり、質の高い災害情報の収集や広域多発的な災害への対応など、消防団に期待できる役割は多岐に渡る。</p> <p>本事業では、ICT 技術を活用した消防団活動支援システムを活用することにより、消防団業務のデジタル化を図り、消防団の活動基盤を構築し、地域防災力の向上に繋げていくことを目的としている。</p> <p>【必要性】</p> <p>消防団業務の現状と課題について、消防団活動支援システムを活用することにより、改善していく必要がある。本事業で改善を図った主な課題については次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 災害発生時の初動体制における課題 II. 災害現場情報の共有にかかる課題 III. 消防団における通常業務の事務負担 <p>○ 事業内容</p> <p>消防団員の端末に専用のアプリを実装し、消防活動支援システムを活用することで、消防指令管制システムと連動した消防団員の参集及び情報管理体制の構築と出動記録を一元的に管理することができる。位置情報などから災害対応時の出動実態や活動時間をシステム上で記録する。また、日々の業務連絡や勤怠情報もシステム上で管理が行える。またシステムの情報をもとに出動報告書を電子化し、消防団員や事務局担当者の負担を軽減する。</p>				

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
専用アプリのダウンロード	アカウント数	91	79	研修会等の機会に登録
研修の実施	実施回数	1回	7回	消防団員へ活用研修会を複数回実施した
スマート会議	実施回数	通年	7回	消防団役員会 本部付団員研修会
災害情報伝達訓練	実施回数	1回	1回	伊丹市総合防災訓練

○ 事業成果

本事業における主な取り組みは次のとおり。

I. 消防団活動支援システムの導入

消防団のデジタル化を目的に消防活動支援システムを導入した。災害情報を共有することから、セキュリティの担保された専用アプリを消防団員のスマートフォン等に導入した。

II. 活用研修会の実施

消防団活用支援システムの導入にあたり、災害現場での運用を円滑に行うため、消防団員を対象とした研修会を実施

III. 消防指令管制システムとの連携

消防指令管制システムと連動した災害情報等の連絡体制の整備を行い、災害発生時において、迅速な消防団活動を実現した。

IV. スマート会議等の実施による業務改善

消防団活動支援システムの活用により電子化された資料を用いた会議や活動報告のアプリ上で行うなど、消防団業務のスマート化を実現

V. 消防団活動支援システムを活用した災害情報の共有にかかる実証実験

令和4年度伊丹市総合防災訓練において、消防団活動支援システムを活用し、各種災害情報を現場指揮本部や消防対策本部などと共有し、災害情報の可視化を検証した。

その他参考
情報

※URL の記載などをお願いします。

伊丹市消防局ホームページ

https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/FIREDEPT/shoubou_soshiki/F_SOU MU/syouboudan/index.html